

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（大型廃棄物保管庫の架台等の設置）に係る面談
2. 日時：令和3年3月5日（金）16時00分～17時20分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
横山係長
大辻室長補佐、知見主任安全審査官、高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）
地震・津波審査部門
江寄企画調査官
千明主任安全審査官（テレビ会議システムによる出席）
東京電力ホールディングス株式会社（テレビ会議システムによる出席）
福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 4名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）より、地盤及び建屋の地震応答解析に関し、これまでの原子力規制庁からの指摘に応じて実施している再解析の進捗について、資料に基づき主に以下の説明があった。
 - 今回は地盤モデル変更による再解析の進捗状況について説明するものであり、地盤及び建屋の地震応答解析は未完了の状態である。
 - 地盤の地震応答解析について、地盤改良後の地盤モデルを用い、地盤物性値のばらつきを考慮して暫定解析を行った状況である。
 - 基礎底面へ入力する地震動に関し、今回は 1/2Sd-1 についてのみ最大応答加速度を示しており、次回 1/2Sd-2、1/2Sd-3 についても示す。
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、
 - 地盤モデルの設定根拠の適用性について、福島第一原子力発電所サイトで実測等から取得したデータを参考に説明すること
 - 物性値ばらつき評価用の変動係数が安全側の設定となっていることを説明すること
 - 今回の面談で説明のあった入力値は東京電力社内での品質保証担当の確認を経ていないとのことであるが、次回面談では必要な手続きを経た適切な解析内容及び結果について説明すること等を求めた。
- 原子力規制庁が解析の遅れに伴う今後のスケジュールを確認したところ、東京電力より、次回説明は約2週間後を目処とし、その後のスケジュールについては再度確認する旨の口頭回答があった。

6. その他

資料：大型廃棄物保管庫の動的解析について

以上